

双方形代表、清原 理さんの
メッセージ(Facebookより)

双方形では「ごはんで元気!」という新型コロナウイルスで食べるのに困っている方へのお弁当無料配食サービスを実施中です。双方形は休業を余儀なくされ、現在売上ゼロですが、厨房は空いています。ならば何か役立つことを、と始めています。(中略)双方形だけの実施には限界があります。市民、行政関係者、政治家の方々にもお知恵を貸していただきたい。否、何かアクションを起こしていただきたいと思います(以下略)。

第25回
双方形



DATA
町田市中町1-8-2-1F
営業時間や休業日はFacebook
(<http://m.facebook.com/sohokeicafe/>)
でご確認ください

気になる
場所訪問

玉川学園周辺で見つけた!

ごあいさつ

そして今後もコロナ自粛は続く……

一ヶ月前につばめ通信を作っていたときは根拠なく「一ヶ月の辛抱」と思っていました。ですが一ヶ月が過ぎ、いやいやまだまだ続くんだとわかって……正直ぐったり。最前線で働く人に比べれば全然大変じゃない。ぐったりなんて言える身分じゃない。そう思って「毎日楽しく!」を心がけてきましたがそんな自分のカラ元気にも疲れてます(笑)。深呼吸しながら、一緒にがんばりましょうね。

玉川つばめ通信編集室 フリーライター宇野津暢子



題字・イラスト/金子伸子 デザイン/葉田いづみ 発行・編集・執筆/宇野津暢子 協賛/玉川学園商店会、玉川学園南口商店会、玉川学園地区まちづくりの会 印刷/レトロ印刷jam
【お問い合わせ先】nu821@zj9.so-net.ne.jp Tel.090-3473-3872
*玉川つばめ通信25号は3000部印刷し、配布しています。

〇 そもそも清原さんは何をされてる方ですか? そしてなぜ双方形を?
私は大学は建築学科で、育ったのは新宿結婚して杉並、その後子どもが生まれて永山に移り住み、今は鶴川在住です。市民啓発活動や消滅可能性都市のコンサルもしています。双方形については、「拠点があるといいな」「一人一人のチャンスを伸ばせる場がほしいな」と思っていて、2年前くらいから知り合いの不動産屋さんに相談してたんです。そして昨年の11月にここを紹介してもらいました。

〇 今日清原さんの「何かアクションを起こして……」という文章を見て、私にできるのは記事を書くことだと思っ
て伺いました。どんな方がお
弁当を取りにきて、毎回何食
配っているんですか?
今日(5/1)は24食作って20
食配りました。お渡しすると
きに詳しく聞かせませんが正
確な状況はわかりませんが、
取りに来た人は新型コロナで
職を失った非正規雇用や日雇
いの人、バイトでできなくなっ
た学生さんが多いかも。

〇 そうですよ。収入が途絶えて貯金がなければ、10万円給付するといわれても待てないですね。
社協(地区社会協議会)や子ども食堂にこんなときだからこ稼働してもらいたいですが、動きにくい状況ですよ。
〇 お弁当を受け取った人は、どこで配食情報を知ったんでしょう? 一情報報を届けた人……スマホで情報を得られず孤立する人には届いてないかも。
店頭で貼り紙を見たとか、口コミで知ったという方もいましたが、そうですね、知らなかったという人は多いでしょうね。

〇 食材は全部寄付ですか? 調理する人もボランティア?
全部寄付で賄っています。地元の方だけでなく、富山からお米を大量に送ってくださった方もいました。人件費も払っていません。無料配食は5/10で一旦終了ですが、今後についても検討中です。
〇 公助・共助・自助という言葉がありますけど、今後は一層「公助」をあてにせず、共助と自助でなんとかするしかないんだなと、私は改めて思っています。
いわゆる「公共」が機能破綻していますから、「新しい公共」が必要ですね。みんながそれぞれの能力や資源を生かして自律的に動く。そんな社会になっていくと考えています。

〇 コロナが収まったら、ぜひ「スナックつばめ」の場所としてもスペースをお借りしてみたいですが、いつまで続くかわからない自粛の日々。苦しいですね。一方で地球環境はよくなっていますね。インドでも空気が浄化されてヒマラヤが見えるようになったというし。
〇 最近ウグイスのいい声を頻繁に聞くようになったし、満員電車も渋滞も解消してるし。いいことありますね。
新型コロナウイルスは特定の人や国だけでなく、全員が立ち止まって考えるきっかけになりましたね。コロナ後の社会は、以前と大きく変わると思っています。

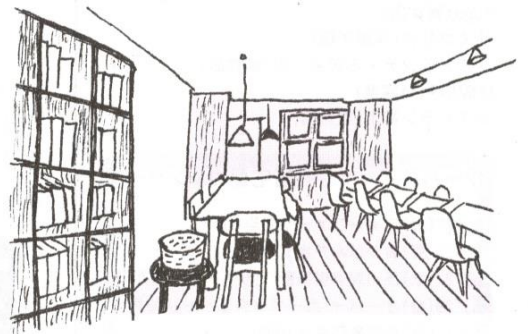
〇 ここ、いい場所ですね。町田駅のリ
ソな銀行から一本道だし、路面店だし、
なんといっても私の好きなシュークリー
ムが売ってる『ボンヌール』の前!
でしょ。それで多目的に使えるパー併設
のイベントスペースを作ったんです。
で、オープンが3月頭……。
そう(苦笑)。今は営業自粛中で、イベン
トはしばらく開催できそうもないし、ど
こまで持つか……。双方形のコンセプト
は「様々な人が交流することで創発の場
となる、新しいスペース」ですが、今後
あり方を変えざるを得ません。

〇 コロナが収まったら、ぜひ「スナックつばめ」の場所としてもスペースをお借りしてみたいですが、いつまで続くかわからない自粛の日々。苦しいですね。一方で地球環境はよくなっていますね。インドでも空気が浄化されてヒマラヤが見えるようになったというし。
〇 最近ウグイスのいい声を頻繁に聞くようになったし、満員電車も渋滞も解消してるし。いいことありますね。
新型コロナウイルスは特定の人や国だけでなく、全員が立ち止まって考えるきっかけになりましたね。コロナ後の社会は、以前と大きく変わると思っています。

〇 今日清原さんの「何かアクションを起こして……」という文章を見て、私にできるのは記事を書くことだと思っ
て伺いました。どんな方がお
弁当を取りにきて、毎回何食
配っているんですか?
今日(5/1)は24食作って20
食配りました。お渡しすると
きに詳しく聞かせませんが正
確な状況はわかりませんが、
取りに来た人は新型コロナで
職を失った非正規雇用や日雇
いの人、バイトでできなくなっ
た学生さんが多いかも。

What is 双方形?

双方形=symbiosis café.
symbiosisとは英語で「共生」という意味。店内にはジャズが流れ、地産地消でナチュラルな食材の提供を目指しているそう。店内のライブラリーでは本の貸し出しも。Wi-Fiと電源も完備。早くここでたくさんのイベントが開催されて、たくさんの人が集まれますように。



床には八王子のヒノキの間伐材を使用。そのヒノキには亜麻仁油、壁には珪藻土を塗った気持ちのよい空間。店内は市民ボランティアが協力して完成させた